

禁煙支援薬局の認定と喫煙対策の推進
事業報告書

(薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業)

平成 27 年 3 月 17 日

一般社団法人 京都府薬剤師会

1 背景・目的

- (1) 京都府保健医療計画において、防煙教育等たばこが健康に及ぼす影響についての知識の普及、禁煙支援を行う医療機関・薬局の増加、受動喫煙防止対策を行う施設の増加等、喫煙対策を推進していくこととされている。禁煙支援分野において薬剤師職能を発揮し、主要な生活習慣病の一次予防の推進に努める。
- (2) 「かかりつけ薬局」として、生活習慣や家族構成などの背景因子を踏まえたアドバイスや、薬物治療の継続的な経過観察を通じて効果的な禁煙支援が行える「禁煙支援薬局」の認定（目標：300薬局）を行う。
- (3) 10薬局で10名を選び禁煙支援の実践を行う。

2 方法

- (1) 禁煙支援薬局の認定は2回／年の研修会への受講を条件とする。認定後は1回／年以上の研修の受講を義務付けるとともに、禁煙支援薬局一覧をホームページに掲載していく。
 - ・第1回目の研修会
日時：平成26年7月6日（日）14：00～17：00
内容：薬剤師による禁煙指導
講師：IHI 播磨病院 薬剤科 石田詞子
 - ・第2回目の研修会
日時：平成27年1月18日（日）10：00～12：00
内容：受動喫煙（タバコとPM2.5）とグループワーク・ロールプレイ
講師：産業医科大学 大和 浩 教授
- (2) 来局者に対して、次の手順で、薬剤師が必要と判断した者に対して、禁煙支援の実践を実施した。（実施期間：平成26年9月～平成27年2月）
 - ①喫煙者への禁煙の啓発・情報提供
 - ②禁煙誘導（動機付け）
 - ③禁煙希望者に対する病院（禁煙外来）か薬局（OTC医薬品）の振り分け
 - ④禁煙の決意（禁煙宣言書）
 - ⑤禁煙方法の選択
 - ⑥禁煙補助剤の服薬状況確認等の継続的なフォローアップ
 - ⑦禁煙確認
 - ⑧禁煙失敗者に対する医療機関（禁煙外来）の紹介

3 結果

(1) 禁煙支援薬局として次の59薬局を認定した。

(禁煙支援薬局一覧)

地域薬剤師会名	認定薬局数
京都北薬剤師会	1
上京薬剤師会	2
左京薬剤師会	6
中京薬剤師会	8
下京南薬剤師会	5
東山薬剤師会	2
山科薬剤師会	3
伏見薬剤師会	7
右京薬剤師会	2
西京薬剤師会	4
乙訓薬剤師会	2
城南薬剤師会	5
綴喜薬剤師会	1
相楽薬剤師会	8
亀岡市薬剤師会	1
船井薬剤師会	0
福知山薬剤師会	0
綾部薬剤師会	0
舞鶴薬剤師会	1
丹後薬剤師会	1
合計	59

(2) ニコチン置換療法のOTC薬である貼付剤（パッチ）と咀嚼剤（ガム）を用いて、薬局で10名の者に禁煙支援の実践（8週間～10週間）を行い、幅広い年代にわたる8名が禁煙に成功した。また、禁煙失敗者に対しては医療機関（禁煙外来）の紹介を行った。

禁煙支援の実践一覧：別添

(禁煙支援の実践一覧)

症例	年代	性別	喫煙 開始 年齢	喫煙 年数	喫煙本数 (1日当たり)	ブリックマン指数 (1日の喫煙本数 ×喫煙年数)	たばこ依存度 (依存度チェック FTND)	同居家族の 禁煙状況	禁煙 宣言	治療中 の病気	禁煙補助剤 (OTC薬)	禁煙成功 の有無
A	70	男	20歳	56年	20本	1,120	高	なし	○	喘息等	ニコチン・ パッチ製剤	○
B	30	男	29歳	10年	40本	400	高	なし	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	×
C	20	女	24歳	6年	20本	120	中	なし	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	○
D	30	男	20歳	14年	8本	112	低	なし	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	○
E	30	男	16歳	24年	20本	480	中	あり	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	○
F	70	女	21歳	56年	40本	2,240	高	あり	○	糖尿病他	ニコチン・パッチ 製剤&ガム	○
G	40	女	16歳	30年	25本	750	高	なし	○	高血圧症	ニコチン・ パッチ製剤	×
H	50	男	18歳	32年	15本	480	低	なし	○	耳鳴等	ニコチン・ パッチ製剤	○
I	40	男	18歳	23年	20本	460	中	なし	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	○
J	40	男	14歳	31年	18本	558	中	なし	○	なし	ニコチン・ パッチ製剤	○

(禁煙宣言書)

症例事例	禁 煙 の 理 由
A	呼吸器疾患もあり、医師にすすめられ、このような計画があることを教えていただき、禁煙に努力する事にいたしました。 禁煙したいと思います。
B	声の不良。
C	お金がない。
D	臭いがクサイから。服につくのがイヤ。
E	今年の10月で満40歳を迎える為(健康を取り戻す) 子供に悪影響である為 他
F	健康のため。経済的にも。
G	体のため、子供のために禁煙します。
H	息子、娘から煙たがられ、日毎吸いにくくなっていったところ、先生に声を掛けられ始めてみようと思いました。 タバコを買いに行かずわしからも解放されるので、がんばってみます。
I	タバコを止めて家族を安心させたい。 将来の為にも家族を喜ばせたい。
J	仕事上禁煙を必要とし、年齢的にも健康を意識してきた為。

4 考察

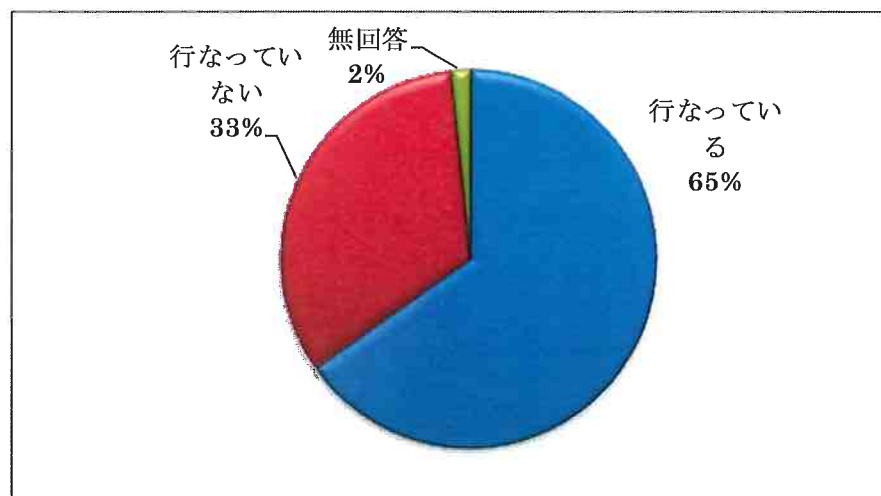
- (1) たばこが健康に及ぼす影響の啓発や受動喫煙の防止、禁煙の推進に積極的に貢献する「禁煙支援薬局」の認定に向けて、研修等の充実を図り、質の向上に努めていく必要がある。
- (2) 薬局の実践例から、薬剤師による禁煙啓発・誘導、並びに禁煙プログラムの提供について、その効果を確認することができた。併せて、禁煙の成功には、医療機関（禁煙外来）での禁煙治療と同様、喫煙者の強い決心で禁煙に挑戦することが必要であることも確認することができた。禁煙支援薬局の認定等を通じて、薬局・薬剤師が、地域住民の健康を支援する一つの拠点として、また、パートナーとして、地域住民の健康支援と適切な医療提供を担っていけるよう努めていくことが重要となる。他方、喫煙と口腔疾患との関連から禁煙支援の必要性も高まっている。歯科医師会と連携を図り、医師による禁煙外来の紹介や薬局での禁煙誘導など、地域全体で禁煙を支援する体制を構築していくことが重要な課題となる。

(参考)

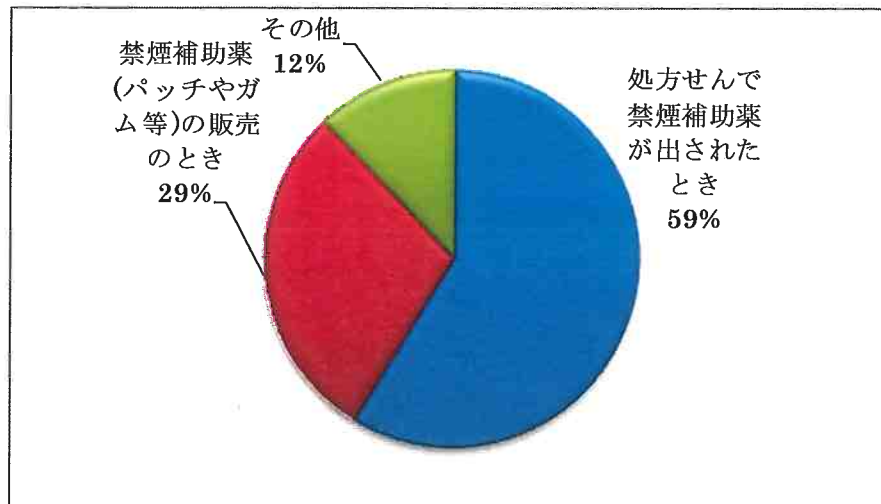
薬局における「たばこに関するアンケート調査」の結果

- ・調査の実施：平成25年9月
- ・調査対象施設：913薬局（回答率：66%）

①薬局で禁煙指導を行っていますか。



②禁煙指導の具体的な内容をお教えてください。



③健康増進法（第25条）で「多数の者が利用する施設の管理者は、利用者の受動喫煙を防止するための必要な措置を講じるよう努めなければならない」と定められていることをご存じですか。

